

作文部門・高校生の部

最
優
秀
賞

恩恵

栃木県立鹿沼南高等学校一年
部 屋 希 美

近年増加している局地的な大雨、高温、大雪、強風などといった異常気象についてメディアでは、こういった現象が起こると「地球温暖化の影響で…」と短絡的に紹介されることが多いのですが私は、すべてが地球温暖化によるものではなく森林の減少が原因と考えます。

前で例に挙げたものは、温室効果ガスによるものでなく、どちらかというと日光、温度差、水蒸気といった気候的要因が原因で起こったものでしょう。しかし、なかには温室効果ガスによるものもあります。「森林」はこれらを調整する機能をもっています。森林が失われてきた結果、局地的に極端な気象状況が生まれたのだと考えます。

例えば砂漠の場合、樹木は無く水分が極端に少ないです。そのため日中は四十度から五十度という高温になります。しかし、夜間には急激に温度が下がり場所によってはマイナスを記録する場合があります。この極端な温度変化を解消する役割を果たすのが最初に話した「水蒸気」であり、それを生み出すのは植物の蒸散作用です。樹木はその上、日陰によって気温を下げ、さらに根によって地表に雨水を蓄えて水の循環を手助けしています。なので樹木のない砂漠は温度調整ができずに不安定な気候になることが多いのです。

だからといってすぐに木を増やすのは不可能です。減ってしまった樹木は

そう簡単には戻りません。特に環境汚染や大量伐採によって樹木を失ってしまった土地の場合は、乾燥したり農作物の過剰付作などによって森としての再生能力を失ってしまっていることがあります。元に戻すためには長い年月とたくさんの方の手が必要になってきます。逆に所有者がわからなくなり放棄された森林は面積あたりの木の本数が多くなりすぎてしまい十分な栄養がいまわれない状態になっています。そのせいで本来、地盤を頑丈にするはずの木の根が弱り、大雨や強風、地震などに対して弱くなってしまっています。ひとたびこういった災害が起こると土と共に流れ崩落する危険があります。これをとめたいと思っても私達高校生には難しい問題です。

しかし、私達にもできることはたくさんあります。花や木を勝手に植えることはできませんが、例えば今ある森林を極力減らさないようにすることで。そのためには、木から作られている紙の節約やできるだけ再生紙を利用するなど、身近にあるものを大切にすることが大事です。また、将来自分の家を建てたいというときはできるだけ国内で生産された木材を選ぶようにしましょう。そうすることで国内での木材の需要が高くなり、現在放棄されている森林が復活するかもしれません。復活した森林は災害の防止や地球温暖化防止、水資源のかん養等につながり、私達の生活を豊かにしてくれます。森林は受け継がれてきたものです。逆に次の世代に受け継いでゆくべき存在とも考えます。まず、私達の今の世代が、現実を見て、どうすればいいかを考え、実行していきたいです。そして、今ある森林に感謝を込めさらに豊かになることを信じて。

